

小学部第2学年1組 「生活単元学習」 学習指導案

指導者 廿日市特別支援学校 教諭 渡邊 朱里 (T1)
助教諭 今津 美紀 (T2)

- 1 日時, 場所 令和元年12月14日(土) 10:05~10:50
小学部第2学年1組教室, バスヤード
- 2 学部, 学年, 学級 小学部第2学年1組(男子4名, 女子1名)
- 3 単元名 「楽しい自転車 〜〇〇コースにレッツゴー!〜」

4 単元設定の理由

(1) 児童観

本学級は、男児4名、女児1名の児童が在籍している知的障害単一学級である。そのうち、1名が自閉スペクトラム症、2名が広汎性発達障害を併せ有している。学習活動への興味・関心、理解・表出の実態の個人差は大きく、身近なことに興味・関心をもち、身近な出来事や気付いたことについて簡単な言葉で指導者や友だちに伝えようとする児童(A、B)や、人に対して自ら関わりを求めずに一人遊びを楽しむ児童(C)、特定のことに對して興味・関心を示し、主に身近な指導者に対して1~2語文で要求を伝えようとする児童(D)、周囲の様子に関心をもち、指差しやクレーン動作、簡単な身振りで指導者や友だちと関わろうとする児童(E)がいる。

4月の「楽しい2年生~誕生日会をしよう~」や6・7月の「楽しい夏~水まつりをしよう~」の単元では、誕生日会や水まつりに向けて、身近な材料や用具を使って必要な物を作って準備し、学年の友だちと遊んだり、活動したりすることに取り組んできた。

しかし、準備を行う過程で、気付いたことや考えたこと、感じたこと等を指導者や友だちに伝えたり、何のために行うのかという目的を十分に理解し、見通しをもって取り組んだりすることに課題があった。

また、第1・2学年の遠足では、スマジ交通ミュージアムに行き、おもしろ自転車に乗って遊んだり、館内のパノラマデッキで様々な乗り物を見たりすることにより、身近な乗り物に興味・関心をもちることができた。おもしろ自転車では、それぞれの児童が楽しんで自転車に乗り、夢中になって何周もコースを回る姿や、自転車を漕ぐことが難しくても足で地面を蹴って進もうとする姿、2人乗りの自転車で指導者や友だちと一緒に乗ることを楽しむ姿が見られた。

学校生活においても、休憩時間に自転車(三輪車)を楽しむ姿が見られるようになり、自転車置き場から自分で自転車を取って来たり、友だちの後に付いて進んだり、後ろに友だちを乗せて遊んだりして過ごしている。

しかし、友だちと関わって遊ぶことを通して、自分の思いを友だちに伝えたり、相手が嫌な気持ちにならない言い方や関わり方をしたり、友だちの気持ちに気付いたりすることが難しい場面も見られる。

これらのことから、経験したことを振り返り、目的に向かって見通しをもって活動したり、気付いたことや考えたことを自分なりに伝えたりする経験や、友だちと関わりながら遊ぶことを通して、自分の気持ちを伝えたり、友だちの気持ちに気付いたりする経験を積むことが必要であると考えた。

(2) 単元観

本単元では、遠足で見たことや経験したことを振り返り、段ボールを使って自転車のコースを組み立てたり、コースに設置する物を作ったり、自分たちで作ったコースで指導者や友だちと関わりながら遊んだりする活動を通して、以下の本校版「学びの変革」アクションプ

ランにおける育成したい資質・能力を高めることを目指す。

自転車のコースを組み立てる活動では、図画工作科や自立活動で培った力を生かし、色をマッチングすることにより、段ボールを組み合わせる姿（ち【知識】）や、繰り返しコースを組み立てることを通して、これまでの活動を振り返り、工夫しようとしたり、友だちと協力したりしながら段ボールを配置する姿（か【活用】、つ【つなぐ】）を期待することができる。

また、コースに設置する物を考えて作る活動では、遠足や近隣校外学習で見たことや気付いたことを思い出したり、思い付いたことを自分なりに伝えようとしたりする力（は【働く力】、か【活用】）や、身近な材料や用具の扱い方を理解し、指導者と一緒にコースに必要な物を作る力（ち【知識】）を高めることができる。

さらに、自分たちで作ったコースで遊ぶことを通して、学習活動に興味・関心をもち、遊んでみようとする姿（い【意欲】）やコースを作った達成感や遊んだ楽しさを指導者や友だちに伝えようとする姿（い【意欲】）、自分の思いを伝えたり、友だちの思いを聞いたり、順番を交代したりして、友だちを意識して遊ぶ姿（つ【つなぐ】）を期待することができる。

（３）指導観

指導に当たっては、児童にとって分かりやすく興味のある内容（自転車のコースを作ってみなで遊ぶこと）のイラストや写真を用いて示すことにより、単元を通して、児童が単元の目標を意識して学習活動に取り組むことができるようにする。

第１次では、遠足で見たことや経験したことに関する写真や映像を提示することにより、児童が自転車で遊んだことを想起し、指導者が用意したコースによる自転車遊びのイメージをもつことができるようにする。児童が自転車に乗って遊ぶ時間を十分に確保し、児童が自転車遊びや自転車のコース作りに期待感をもつことができるようにする。

また、コースの中に坂道等を設置したり、児童がコースの一部を自分たちで繋ぎ合わせる時間を設けたりすることにより、コースにあったら楽しい物や作りたい物を思い浮かべたり、どんなコースで遊びたいか考えたりすることができるようにする。

第２次では、第１次で遊んだ経験を基に、児童がコースに設置したい物を考える場面を設定する。その際に、遠足や近隣校外学習で見たことや経験したことに関する写真や映像を提示し、児童が身近な道路にある物（信号や横断歩道、踏切等）の中から作りたい物を発言したり、選択したりすることができるようにする。

本時を含む第３次では、第２次で決めたコースに設置する物を作る活動と、コースを組み立てて遊ぶ活動を繰り返すことにより、児童が学習活動に見通しをもち、自らやってみようとする姿や工夫して取り組もうとする姿を引き出したい。

設置する物を作る活動では、児童が扱いやすい材料やこれまでに扱ってきた用具を用意したり、複数の材料の中から使えそうな物を選べるようにしたり、分かりやすく単純な作業工程を示したりして、児童が見通しをもって意欲的に取り組むことができるようにする。

また、自転車のコースを組み立てる活動では、児童が色をマッチングしながら段ボールを繋ぎ合わせ、繋がった段ボールを組み合わせ一つのコースを作ることができるように設定する。段ボールを繋ぎ合わせる場面では、一人一人が集中して取り組めるように、作業スピードを考慮して段ボールの数を調整したり、一人分の量が分かるように提示したりする。繋がった段ボールを組み合わせる場面では、児童が２本の段ボールの道を基準にして、残りの段ボールを友だちと一緒に運び、設置する位置を考えたり、置きたい位置を友だちに伝えたりして取り組むことができるようにする。

遊びの場面では、回数を重ねる毎に自転車の数を少なく用意していったり、自力で進むことができないゴーカートを用意したりすることにより、児童が友だちと関わりながら遊ぶことができるようにする。繰り返しの遊びの中で、児童がみなで楽しく遊ぶためにはどうしたら良いか考えたり、考えたことを基に、１周回ったら交代する等の遊びのルールを決めたりする時間を設定する。コースの途中に待合スペースを設けたり、順番を交代する時の言葉を簡単な身振りと一緒に示したりすることにより、児童が友だちと譲り合ったり、交代したりすることが分かるようにするとともに、自分の思いを伝えたり、友だちの思いを聞いたり

することができるようにする。

単元を通して、毎時間の導入部分では、児童が前時に行った活動を映像や写真を用いて振り返り、前時を踏まえて、どのように作ったり、遊んだりしたいのか考えながら取り組めるようにする。児童の思いや考えを受け止め、必要に応じて言葉を補ったり、代弁したりすることを繰り返し、気付いたことや感じたこと、考えたことを自分なりに表現しようと思えるようにする。

また、児童の良かった発言や行動に対しては、具体的に分かりやすく即時評価を行うことで、児童が自分や友だちが工夫して取り組んでいる姿や良い関わり方をしている姿に気付くことができるようにする。

5 単元の見目標

- (1) 冬に関する活動を通して、友だちとの関わり、身の回りの自然、冬の活動等への興味・関心を高めたり、見たことや感じたことを指導者と一緒に伝えたりすることができる。
- (2) 活動の大まかな見通しをもち、指導者と一緒に簡単な役割や準備・実施に取り組むことができる。
- (3) 冬に関する活動の中で、簡単なきまりを意識し、指導者や友だちと一緒に活動することができる。

6 単元の評価規準

単元の評価規準		知識及び技能	思考力・判断力・表現力等		主体的に学習に取り組む態度	
		- 身近な乗り物や道路にある物について知っている。 - 材料や用具の扱い方や作り方を理解し、作業に取り組んでいる。 - 段ボールの組み立て方を理解してコースを作っている。 「かわって。」「いいよ。」「いっしょにあそぼう。」等の言葉や身振りを知っている。	- 遠足や近隣校外学習で見たことや経験したことを思い出し、どんなコースを作りたいか考えたり、思い付いたことを表現したりしている。 - コースに必要な物を作ることやコースを組み立てて遊ぶ活動に見通しをもって取り組んでいる。 - みんなで決めたルールを守ったり、友だちと譲り合ったりして遊んでいる。		- 遠足や近隣校外学習の写真や映像に注目したり、話を聞き、それらに関連することを発言したりしようとしている。 - コース作りに期待感をもち、進んで準備に取り組んだり、友だちと協力したりしようとしている。 - コースを作った達成感や自転車で遊んだ楽しさを表現しようとしている。 - 自分の思いを伝えたり、友だちの思いを聞いたりしながら遊ぼうとしている。	
はつかいち「学びの革新」		ち【知識】 知識・情報 技能・行動	は【働力】 思考力・判断 力・表現力	か【活用】 知識・技能の活 用	い【意欲】 興味・関心 主体性	つ【つなぐ】 共同・協同・ 協働
		□必要な情報を収集する力	□臨機応変に対応する力	□できるようになったことを応用・発展させる力	□目的を持って自ら行動(「あんな風になりたい」「一人でできる」)	□社会に貢献する力(相手を思いやり、為になることをする)
育成したい資質・能力 段階表	第5段階	□必要な情報を取捨選択する力	□正確な課題遂行能力	□自分のもてる力で課題に対処する力	□くりかえしやってみる(「またやろう」)	□仲間と協働する力(仲間と同じ目的に向かって働く)
	第4段階	□基礎的・基本的な学力(書く、聞きとる、読み取る、見る、数える)	□集中力・忍耐力	□より良くするため工夫する力	□積極性(「できた」)	□仲間と協同する力(仲間と心と力を合わせて活動する)
	第3段階	■学習活動への興味・関心(探求する)	□支援を要求する力	□体験したことを思い出し挑戦する力	■自発性(「やってみよう」)	□仲間と共同する力(仲間と力を合わせて活動する。思いを伝える)
	第2段階	■基本的生活習慣(集団のルール、マナー、学習姿勢)	□自分が得意なことを知る	■体験したことを振り返り繰り返す力	■興味・関心(「楽しそうだな」)	■仲間と一緒に取り組む力(場を共有する)

7 指導計画（全 15 時間）

	指導計画	時間	指導内容（学習活動）
第 1 次	・ 自転車で遊ぼう	1	・ 遠足で見たことや経験したことを写真や映像で振り返る。 ・ 指導者が用意したコースで遊ぶ。
		2	・ 段ボールを組み立ててコースの一部を作る。 ・ 組み立てたコースで遊ぶ。
第 2 次	・ コースを考えよう	2	・ コースを組み立てて遊ぶ。 ・ 遠足や近隣校外学習で見たことや経験したことを写真や映像で思い出す。 ・ コースに設置する物を決める。（横断歩道、信号、踏切、トンネル等） ・ 必要な材料を見付ける。
第 3 次	・ ○○コースにレッツゴー！	2 × 4 本時 13/15	・ コースに設置する物を作る。（横断歩道、信号、踏切、トンネル等） ・ コースを組み立てる。 ・ 組み立てたコースで遊ぶ。
第 4 次	・ 学年の友だちといっしょに遊ぼう	2	・ コースを組み立てて遊ぶ準備をする。 ・ 役割に分かれて遊ぶ。 ・ 振り返りをする。

8 本時の目標

（1）全体の目標

- ア 色をマッチングして段ボールを繋ぎ合わせたり、段ボールを置く位置を考えながら友だちと一緒に段ボールを運んだりして、自転車のコースを組み立てることができる。（ち【知識】，か【活用】）
- イ 自分の思いを伝えたり、友だちの思いを聞いたり、順番を交代したりしながら、自転車に乗って友だちと一緒に遊ぶことができる。（い【意欲】，つ【つなぐ】）

（2）個々の目標

児童	これまでの様子	目 標
A	・単純な作業内容を理解して取り組むことができるが、少し難しいと感じると、間違えることを恐れ、自分で考えようとするのが難しくなる。 ・友だちに自分の気持ちを伝えることが難しい場面では、指導者に助けを求める。	・色をマッチングして段ボールを繋ぎ合わせたり、段ボールを置く位置を考えながら友だちと一緒に運んだりして、自転車のコースを組み立てることができる。 ・簡単な言葉で友だちと誘い合ったり、譲り合ったりしながら、自転車に乗って友だちと一緒に遊ぶことができる。
B	・簡単な言葉で友だちを誘ったり、自分の思いを伝えたりすることができるが、友だちと一緒に活動する時に、友だちのペースに合わせることが難しいことがある。 ・友だちへの言葉遣いや接し方が乱暴な時がある。	・適切な言葉で友だちを誘ったり、友だちと歩くペースを合わせたりして一緒に段ボールを運び、自転車のコースを組み立てることができる。 ・適切な言葉で友だちと誘い合ったり、譲り合ったりしながら、自転車に乗って友だちと一緒に遊ぶことができる。

C	・授業に集中することが難しいことがあるが、視覚支援を活用することにより、繰り返しの活動に見通しをもって取り組むことができる。 ・一人遊びが中心で、友だちに対して自ら関わろうとする姿があまり見られないが、ほしい物がある時には、友だちに対して、「かして。」と自分の思いを伝えることができる。	・自転車のコースを組み立てることに見通しをもち、色をマッチングして段ボールを繋ぎ合わせたり、友だちと一緒に段ボールを運んだりすることができる。 ・簡単な言葉で自分の思いを友だちに伝えたり、順番を交代したりしながら、自転車に乗って友だちと一緒に遊ぶことができる。
D	・思い付いたことや要求を繰り返し指導者に伝えてくる姿が多く見られるが、気持ちを受け止めたり、大まかな予定を簡単な言葉で伝えたりすることにより、繰り返しの活動に落ち着いて取り組むことができる。 ・一人遊び、あるいは、指導者との関わりを求め、友だちに対して自ら関わろうとする姿があまり見られない。	・自転車のコースを組み立てることに見通しをもち、色をマッチングして段ボールを繋ぎ合わせたり、友だちと一緒に段ボールを運んだりすることができる。 ・簡単な言葉で自分の思いを友だちに伝えたり、順番を交代したりしながら、自転車に乗って友だちと一緒に遊ぶことができる。
E	・5色の色分けやマッチングをすることができるが、周囲の様子が気になり、自分の作業に集中することが難しいことがある。 ・「あ、あ。」と声を出して指導者に呼びかけたり、指差しやクレーン動作、簡単な身振りで指導者や友だちと関わろうとしたりする。 ・ほしい物がある時に、「かして。」と身振りで示すこともあれば、友だちから無理やり取ってしまうこともある。	・色をマッチングして段ボールを繋ぎ合わせたり、友だちと一緒に段ボールを運んだりすることを最後まで集中してやり切ることができる。 ・簡単な身振りで友だちと譲り合ったり、順番を交代したりしながら、自転車に乗って友だちと一緒に遊ぶことができる。

9 準備物

タブレット型端末、プロジェクター、活動表、顔写真、段ボールのコース、自転車（三輪車）2台、ゴーカート、コースに設置する物、移動式ホワイトボード、タイムタイマー等

10 学習過程（※別紙）

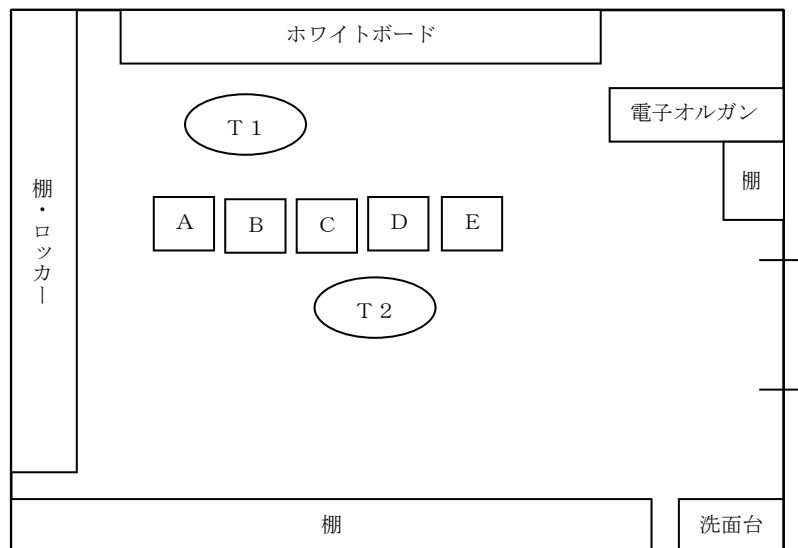
11 評価の観点

- (1) 小学部の研究仮説に基づき、ちょっと頑張ったら達成可能な学習活動を積み上げたり、繰り返し行ったりする場面を設定したことにより、自分で考えて行動したり、自分の思いを表出したりすることができたか。
- (2) 選択した「育成したい資質・能力『はつかいち』（学びの変革）」に係る指導・支援は適切であったか。

12 教室内配置図

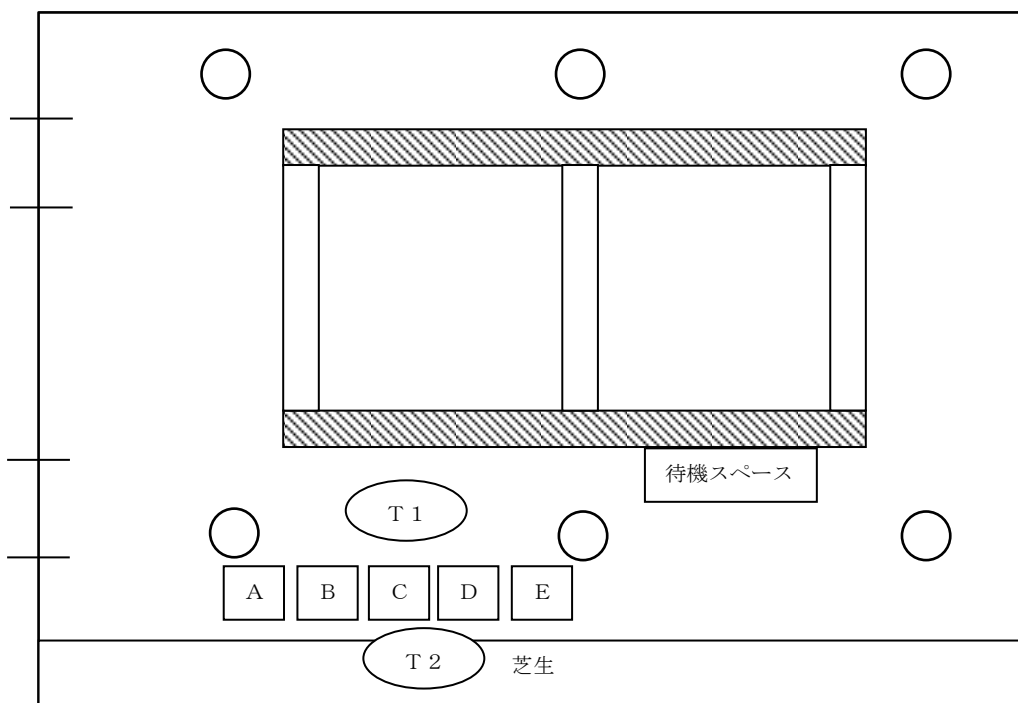
※状況によって，児童の並び順は変更する。

<学習活動 1， 2> 教室



<学習活動 4， 5， 6， 7> バスヤード

※状況によって，段ボールのコースの一部は変更する。



学習活動	指導上の留意点（課題 ○指導・支援 ， ☆評価）						学びの 変革
	A	B	C	D	E	全体	
1 始まりの挨拶をする。 （1分）							
2 前時の活動を振り返り、 本時の活動を知る。（5分）	○「何をした？」等の問いかけを行い、児童がこれまでの学習を想起することができるようにする。（T 1）	○「何をした？」等の問いかけを行い、児童がこれまでの学習を想起することができるようにする。（T 1）	○提示された写真に注目するように促す。（T 2）	○提示された写真に注目するように促す。（T 2）	○児童の反応を受け止めたり、気持ちを代弁したりする。（T 1）	○前時までの活動写真を提示し、これまでの学習を想起させるとともに、児童が本時の活動への見通しがもてるようにする。（T 1）	
3 バスヤードに移動する。 （5分）							
4 ○○コースを組み立てる。（14分） ①段ボールを繋ぎ合わせる。 ②繋いだ段ボールを組み合わせてコースを作る。 ③コースの中に作った物を設置する。（信号,踏切等）	色をマッチングして段ボールを繋ぎ合わせたり、段ボールを置く位置を考えながら友だちと一緒に運んだりして、自転車のコースを組み立てる。 ○必要に応じて、繋ぎ合わせる面の色の違いに気付けるような言葉かけをする。（T 2） ○段ボールを運び始める前にどこに運びたいのか問いかけ、児童が考える時間を設ける。（T 2） ☆色をマッチングして段ボールを繋ぎ合わせたり、段ボールを置く位置を考えながら友だちと一緒に運んだりして、自転車のコースを組み立てることができたか。	適切な言葉で友だちを誘ったり、友だちと歩くペースを合わせたりして一緒に段ボールを運び、自転車のコースを組み立てる。 ○適切な言葉で友だちを誘ったり、友だちと歩くペースを合わせたりしている姿が見られた時には、友だちの気持ちを代弁しながら即時評価を行う。（T 1） ☆適切な言葉で友だちを誘ったり、友だちと歩くペースを合わせたりして一緒に段ボールを運び、自転車のコースを組み立てることができたか。	自転車のコースを組み立てることに見通しをもち、色をマッチングして段ボールを繋ぎ合わせたり、友だちと一緒に段ボールを運んだりする。 ○自分の作業量が分かるように、繋ぎ合わせる段ボールを一人ずつに分けておき、児童が活動に見通しをもつことができるようにする。（T 2） ○運ぶ段ボールの数やどこに運ぶのかを事前に伝えたり、視覚的に分かるように示したりする。（T 2） ☆自転車のコースを組み立てることに見通しをもち、色をマッチングして段ボールを繋ぎ合わせたり、友だちと一緒に段ボールを運んだりすることができたか。	・自転車のコースを組み立てることに見通しをもち、色をマッチングして段ボールを繋ぎ合わせたり、友だちと一緒に段ボールを運んだりする。 ○自分の作業量が分かるように、繋ぎ合わせる段ボールを一人ずつに分けておき、児童が活動に見通しをもつことができるようにする。（T 1） ○運ぶ段ボールの数やどこに運ぶのかを事前に伝えたり、視覚的に分かるように示したりする。（T 1） ☆自転車のコースを組み立てることに見通しをもち、色をマッチングして段ボールを繋ぎ合わせたり、友だちと一緒に段ボールを運んだりすることができたか。	色をマッチングして段ボールを繋ぎ合わせたり、友だちと一緒に段ボールを運んだりすることを最後まで集中してやり切る。 ○繋ぎ合わせる段ボールの数を調整したり、作業する空間を十分に確保したりして、児童が集中して取り組めるようにする。（T 1） ○運ぶ段ボールの数やどこに運ぶのかを事前に伝えたり、視覚的に分かるように示したりする。（T 1） ☆色をマッチングして段ボールを繋ぎ合わせたり、友だちと一緒に段ボールを運んだりすることを最後まで集中してやり切ることができたか。	○自転車のコースは、毎回、同じ組み立て方で繰り返し行わせ、見通しをもたせるとともに、児童が段ボールを置く位置を考えたり、工夫したりすることができるようにする。 ○基準となる段ボールと自由に組み合わせる段ボールを区別して、児童が置きたい位置を考えながら運ぶことができるようにする。 ○基準となる段ボールを置く位置には、印を付けておく。	ち か
5 自転車に乗って遊ぶ。 （15分）	簡単な言葉で友だちと誘い合ったり、譲り合ったりしながら、自転車に乗って友だちと一緒に遊ぶ。 ○友だちを誘ったり、譲ったりする時の言葉を統一したり、友だちへの伝え方の手本を示したりする。（T 1, T 2） ☆簡単な言葉で友だちと誘い合ったり、譲り合ったりしながら、自転車に乗って遊ぶことができたか。	適切な言葉で友だちと誘い合ったり、譲り合ったりしながら、自転車に乗って友だちと一緒に遊ぶ。 ○児童が良い関わり方を想起したり、友だちの良い関わりに気付いたりすることができるような言葉かけをする。（T 1, T 2） ☆適切な言葉で友だちと誘い合ったり、譲り合ったりしながら、自転車に乗って遊ぶことができたか。	簡単な言葉で自分の思いを友だちに伝えたり、順番を交代したりしながら、自転車に乗って友だちと一緒に遊ぶ。 ○順番を交代する時の言葉を決めておき、児童が「かわって。」や「どうぞ。」等の簡単な言葉でやりとりすることができるようにする。（T 1, T 2） ☆簡単な言葉で自分の思いを友だちに伝えたり、順番を交代したりしながら、自転車に乗って友だちと一緒に遊ぶことができたか。	簡単な言葉で自分の思いを友だちに伝えたり、順番を交代したりしながら、自転車に乗って友だちと一緒に遊ぶ。 ○順番を交代する時の言葉を決めておき、児童が「かわって。」や「どうぞ。」等の簡単な言葉でやりとりすることができるようにする。（T 1, T 2） ☆簡単な言葉で自分の思いを友だちに伝えたり、順番を交代したりしながら、自転車に乗って友だちと一緒に遊ぶことができたか。	簡単な身振りで友だちと譲り合ったり、順番を交代したりしながら、自転車に乗って友だちと一緒に遊ぶ。 ○児童の身振りの表出を待ち、表出がない時には、言葉とともに身振りを示す。（T 1, T 2） ○気持ちの葛藤に寄り添い、気持ちが切り替わるまで待つ。（T 1, T 2） ☆簡単な身振りで友だちと譲り合ったり、順番を交代したりしながら、自転車に乗って友だちと一緒に遊ぶことができたか。	○自転車の数をあえて少なく用意したり、自力で進むことができないゴーカートを用意したりすることにより、児童が友だちと関わりながら遊ぶことができるようにする。 ○自転車コースの途中に待合スペースを設定し、児童が順番を交代しながら遊ぶことを意識することができるようにする。 ○遊ぶ前にみんなで決めたルールを確認して、児童がルールを意識して遊ぶことができるようにする。 ○必要に応じて、指導者も遊びの中に加わり、児童同士の関わり方の繋ぎ役となったり、関わり方の手本を示したりする。	い つ

学習活動	指導上の留意点（課題 ○指導・支援 ， ☆評価）						
	A	B	C	D	E	全体	学びの 変革
6 振り返りをする。（4分）	○楽しかったことや友だちと遊んで感じたこと等について問いかけ，児童が自分なりの言葉で表現することができるようにする。（T 1）	○楽しかったことや友だちと遊んで感じたこと等について問いかけ，児童が自分なりの言葉で表現することができるようにする。（T 1）	○自転車とゴーカートの写真カードを提示して，児童が楽しかったことを選択することができるようにする。（T 1）	○自転車とゴーカートの写真カードを提示して，児童が楽しかったことを選択することができるようにする。（T 1）	○自転車とゴーカートの写真カードを提示して，児童が楽しかったことを選択することができるようにする。（T 1）	○指導者が本時の目標の観点から児童の良い姿を称賛することにより，児童が行動を振り返ったり，達成感を感じたりすることができるようにする。（T 1） ○次時の予告をすることにより，児童が今後の活動に期待感をもつことができるようにする。（T 1）	
7 終わりの挨拶をする。（1分）							